

1. 件名：ALPS 処理水希釈放出設備B群循環攪拌運転時のA群タンクの水位低下について
2. 日時：令和5年3月31日（金） 14時30分～15時40分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、正岡企画調査官、松田室長補佐、大辻室長補佐、横山係長、
塩唐松係長
原子力規制部検査グループ専門検査部門
山元首席原子力専門検査官、丸山主任原子力専門検査官
山中原子力専門検査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当1名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨
 - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、3月19日に確認されたタンクA群 A10 タンクのシートパスについて資料に基づき、以下の説明があった。
 - MO 弁シートパスの要因分析
 - 分解点検結果
 - 推定原因・対策等
 - 【参考】カップリングボルト突き出し量調査（循環系統）
 - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、推定されるカップリングボルトの締め付けが十分でなかった要因を引き続き調査し、是正処置対策を策定した結果について原子力規制庁へ報告するよう伝えた。
 - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。
6. 資料
 - ALPS 処理水希釈放出設備B群循環攪拌運転時のA群タンクの水位低下について

以上